

同窓さふさ

第54号

2020年11月発行
(令和2年11月)

千葉県立匝瑳高等学校
同窓会事務局
〒289-2144 千葉県
匝瑳市八日市場イ1630
TEL. 0479-72-1541
FAX. 0479-73-6146
代表：南波 隆

同窓会報年1回発行☆各家庭に1冊配布☆最新情報はHPへ

第72回卒業証書授与式は、
卒業生・教職員だけで行なわれた…。



令和2年3月7日、コロナ禍での卒業式が挙行されました。保護者・在校生も出席できないという異例の式となり、出席者も全員がマスクを着用しました。

同窓会では卒業式に臨席できず子供たちの晴れ姿を見られない親御さんの心情を慮り、式の様子をDVDに収め、新入会員への贈り物としました。また、美術部OGで黑板アート作家の鈴木蘭菜(高65)さんは、学び舎を巣立つ卒業生の門出を祝した作品を作成してくれました。



での同窓会 お知らせします

新型コロナウイルスの影響により、各支部での事業活動や、体育部会による「親睦ゴルフ大会」「シニアゴルフ大会」が中止となり、毎年6月の第4日曜日に開催される総会も開催できなくなるなど、過去にない状況となっています。本年度の予算、役員人事、事業について報告します。

会長あいさつ

「生きて行くという事は」



南波 隆 会長
(高28)

高校28回普通科卒業の南波隆です。令和2年度匝瑳高等学校同窓会の会長を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

数年前に定年を迎えた時、強く感じたことがあります。これまで私は、自分一人の力ではなく、周囲の様々な力によって生かされてきたと。放送作家で作詞家の永六輔は「生きているという事は」という詩で、次のように言っています。

『生きるということとは
誰かに借りをつくること
生きて行くということとは
その借りを返していくこと
誰かに借りたら誰かに返そう
.....
』

「誰か」、とりわけ多くの同窓の存在に感謝するばかりでした。同窓の先輩や後輩につくってきた大きな借りを、同窓会の会員の皆さんと、匝瑳高等学校の現役生徒、教職員の皆さんに返していきたいと思っています。

私たちは今、パンデミックの真只中に暮らし、辛く息苦しい日々を過ごしています。百年ほど前にも「スペイン風邪」の流行という、パンデミックがありました。大正7年から9年にかけてのことです。大正13年創立の本校にとつては、今回の新型コロナウイルス

による感染症流行が、創立以来はじめて経験するパンデミックと言えます。

私たち同窓会員も厳しい現実の中にありますが、現役の生徒、教職員の皆さんも、これまでとは異なる学校生活を強いられることと思います。様々な行事や計画の変更を迫られてきたことでしょうか。その厳しい現実、これからは続いていくのでしょうか。それを思うと心が痛みます。同窓会においても、総会やシニアゴルフ大会の中止等々、活動計画の大幅な変更を余儀なくされました。

過日、ようやく臨時拡大役員会を開催しましたが、細心の注意を払いました。検温、手指の消毒、換気、そしてソーシャルディスタンス。細部に渡る生活様式の見直しは、人と人を遠ざけます。気軽に会えないのです。会えないからこそ募る「会いたい」という思い。広報紙「同窓さふさ」や匝瑳高等学校ホームページを最大限機能させ、会員相互の連帯感を醸成したいと考えます。

匝瑳高等学校は、令和6年に創立百周年を迎えます。本年度は、創立百周年記念事業の準備を始めたかと考えています。会議の開催も容易ではない現状を考えると、不安です。しかし、工夫を凝らし事に当たることが、母校への支援に繋がると思っています。

誰かに借りたら誰かに返そう。匝瑳高等学校同窓会の会長として、同窓会会員相互の親睦を図り、母校の発展を期すという同窓会の目的のため、微力ながら努力したいと思っております。各界で活躍する会員の皆様、ご理解ご協力のほどお願いいたします。

令和2年度 役員

参 与	顧問	書記	会計	事務局 長	会 務 長	事務局長	会 務 員	体育部長	文化部長	総務部長	監 事	副 会 長	会 長																
鵜之沢 正吉 (高27) 新	笹本 浩康	佐々木 清文	滝澤 剛	志賀 達也	小西 薫	青澤 晴美 (高32)	小林 千尋 (高57)	宇野 典男 (高30)	行木 利雄 (高28) 新	江波戸 寛 (高28) 新	飯島 美恵 (高17)	安藤 昇 (高28) 新	萩原 吉春 (高31)	中村 正平 (高25)	工藤 博孝 (高11)	加瀬 操 (高17)	椎名 重基 (高18)	加瀬 正彦 (高24)	大木 茂雄 (高25)	渡邊 満 (高28) 新	須郷 隆雄 (高17)	石井 稔 (高18)	飯田 武之 (高28) 新	押尾 幹 (高29) 新	石毛 理 (高20)	実川 俊一 (高21)	鶴見 正雄 (高28) 新	阿曾 博道 (高29) 新	南波 隆 (高28) 新
新 従来の方々に加え	事務局長	定時制教頭	全日制教頭	全日制教頭	校長											海上支部会長	光支部会長	飯田支部会長	野栄支部会長	干潟支部会長	匝瑳支部会長	京葉支部会長	多古町匝瑳高学生会長	横田支部会長	銚子支部会長	旭支部会長	匝瑳支部会長	次期会長	

同窓会の定例総会は、毎年6月の第4日曜日に開催しています。
※令和3年度は6月27日に開催します。



コロナ禍 同窓会活動を

令和2年度 匝瑳高等学校同窓会 一般会計予算

(自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)

収入の部 合計 5,147,000 円

支出の部 合計 5,147,000 円

差引残高 0 円

令和元年度 匝瑳高等学校同窓会 一般会計決算書

(自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)

収入の部 合計 5,412,581 円

支出の部 合計 4,665,419 円

差引残高 747,162 円

収入の部 (▲印:減、単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	747,162	2,633,236	▲1,886,074	前年度から繰り越し
会費	1,500,000	1,800,000	▲300,000	
入会金	822,000	852,000	▲30,000	全日制268名 定時制6名
繰入金	2,000,000	0	2,000,000	京葉銀行スーパー定期
寄付金	73,820	80,000	▲6,180	さふさ広告
雑収入	4,018	4,764	▲746	名簿売上、預金利息
収入の部計	5,147,000	5,370,000	▲223,000	

収入の部 (▲印:減、単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	2,633,236	2,633,236	0	
会費収入	1,800,000	1,763,000	▲37,000	
入会金収入	852,000	843,000	▲9,000	全日制272名 定時制9名
繰入金	0	0	0	京葉銀行スーパー定期
寄付金収入	80,000	169,332	89,332	懇親会剰余金・さふさ53号広告掲載料
雑収入	4,764	4,013	▲751	名簿売上・利子
収入の部計	5,370,000	5,412,581	42,581	

支出の部 (▲印:減、単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
会議費	550,000	570,000	▲20,000	総会、文化部、支部総会
事務費	120,000	120,000	0	事務通信費、印刷費
旅費	60,000	60,000	0	会務旅費(学校/会長)
慶弔費	30,000	30,000	0	役員等
振込手数料	25,000	25,000	0	会費振込手数料
会報発行費	3,100,000	3,000,000	100,000	印刷費、発送費
補助費	1,000,000	1,000,000	0	母校教育活動への補助
HP管理費	166,752	166,752	0	ホームページの管理
予備費	95,248	398,248	▲303,000	
特別会計へ	0	0	0	
支出の部計	5,147,000	5,370,000	▲223,000	

支出の部 (▲印:減、単位:円)

科目	予算額	決算額	増減	備考
会議費	570,000	431,337	138,663	総会・文化部会・支部総会
事務費	120,000	88,185	31,815	事務通信費・印刷費
旅費	60,000	56,500	3,500	会務旅費
慶弔費	30,000	10,000	20,000	
振込手数料	25,000	20,752	4,248	会費振込手数料
会報発行費	3,000,000	2,948,996	51,004	印刷費・発送費
補助費	1,000,000	942,897	57,103	母校教育活動への補助
HP管理費	166,752	166,752	0	
予備費	398,248	0	398,248	
特別会計へ	0	0	0	
支出の部計	5,370,000	4,665,419	704,581	

特別会計 (単位:円)

	前年度繰越	前年度予算	備考
前年度繰越	13,085,924	13,085,924	
支出の部		2,000,000	一般会計へ
収入の部		0	一般会計より
次年度繰越		11,085,924	

特別会計 (単位:円)

科目	収入	支出	備考
一般会計へ	0	0	
定期預金受取利息	685		千葉銀行/京葉銀行
定期預金預け入れ		685	
合計	685	685	

財産目録 (▲印:減、単位:円)

	H31年3月31日	R2年3月31日	差額
一般会計			
現金	385,111	306,622	▲78,489
ゆうちょ銀行 当座預金	613,300	155,548	▲457,752
ゆうちょ銀行 通常貯金	1,634,825	284,992	▲1,349,833
一般会計 合計	2,633,236	747,162	▲1,886,074
特別会計			
千葉銀行 定期預金	3,032,270	3,032,527	257
京葉銀行 スーパー定期	5,052,969	5,053,397	428
京葉銀行 スーパー定期	0	0	0
ゆうちょ銀行 定期貯金	5,000,000	5,000,000	0
千葉興業銀行 スーパー定期	0	0	0
特別会計 合計	13,085,239	13,085,924	685
総資産	15,718,475	13,833,086	▲1,885,389



令和2年度 事業計画

本部関係	事業内容	会 場
2.6.28	定例総会	中止
2.9.4	第1回総務部会	西城館
2.11.	第2回総務部会	西城館
3.2.6	新年幹事会	梅田家
3.3.5	全日制同窓会入会式 高73回	体育館
3.3.6	午前全日制卒業式 夜定時制卒業式・同窓会入会式 定67回	体育館 食堂
3.4.7	午前全日制入学式 夜定時制入学式	体育館 食堂
3.4.	第3回総務部会	西城館
3.5.	幹事会	西城館
3.6.26	母校文化祭（蔦陵祭） ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	ギャラリー
3.6.	ホームページ更新	

体育部	事業内容	会 場
2.6.25	第1回体育部会	
2.8.28	第2回体育部会	
2.10.22	第20回シニアゴルフ大会（中止）	久能カントリー倶楽部
3.1.	第3回体育部会	
3.4.	第4回体育部会	
3.5.20	第25回親睦ゴルフ大会	小見川東急ゴルフクラブ
3.6.	体育部会引継式	

文化部	事業内容	会 場
2.7.	第1回文化部会	西城館
3.5.	第2回文化部会	西城館

会 報	事業内容	会 場
2.8.20	第1回会報編集委員会	応接室
2.10.9	第2回会報編集委員会	応接室
2.10.19	第3回会報編集委員会	応接室
2.11.	さふさ54号発行	

令和元年度 事業報告

本部関係	事業内容	会 場
元.6.23	定例総会 ※会長に鶴之沢正吉氏(高27)を選出 ※記念講演 越川和彦氏(高27) 「日本の外交～米中対立の世界で」	食 堂
元.7.29	第1回総務部会	西城館
元.12.10	第2回総務部会	西城館
2.2.1	新年幹事会	梅田家
2.3.6	全日制同窓会入会式 高72回	事務局が代行
2.3.7	午前全日制卒業式 夜定時制卒業式・同窓会入会式 定66回	来賓の出席なし 来賓の出席なし
2.6.1	午前全日制入学式 夜定時制入学式	来賓の出席なし 来賓の出席なし
	第3回総務部会	中止
	幹事会	中止
	母校文化祭（蔦陵祭） ギャラリーの公開、PTAバザーへの協力	中止
2.6.	ホームページ更新	

体育部	事業内容	会 場
元.7.15	第1回体育部会	
元.8.30	第2回体育部会	
元.10.3	第19回シニアゴルフ大会	PGM総成ゴルフクラブ
元.10.6	第3回体育部会	
元.12.19	第4回体育部会	
2.4.5	第24回親睦大会打ち合わせ(中止決定)	
	親睦ゴルフ大会(147名参加予定)	中止
2.6.6	体育部会引継式	

文化部	事業内容	会 場
元.7.15	第1回文化部会	西城館
	第2回文化部会	中止

会 報	事業内容	会 場
元.8.28	第1回会報編集委員会	応接室
元.11.5	第2回会報編集委員会	応接室
元.11.15	第3回会報編集委員会	応接室
元.12.18	さふさ53号発行	

～支部の活動～

令和2年度 事業計画

支部関係	支部名	会 場
2.7.	匝陵会豊和支部	宇しろ
2.7.	匝陵会匝瑳支部	内山屋
2.7.	四街道支部	四街道文化センター
2.8.	干潟支部	中止
2.8.	野栄支部	岩沢
2.8.	旭匝会	昇月
2.8.	光支部	
2.8.	多古町匝高会	中止 萬勢庵
2.9.	匝陵会吉田支部	紫季
3.4.	匝東会	アルカディア市ヶ谷
3.5.	京葉支部	ホテルミラマーレ
3.5.	飯匝会	幸喜
3.6.	匝陵会総会	吾妻庵
3.6.	横匝会	富士屋
	匝陵会中央支部（西城会）	
	海上支部	
	銚匝会	
	匝陵会豊栄支部	

令和元年度 事業報告

支部関係	支部名	会 場
元.7.13	匝陵会豊和支部	宇しろ
元.7.13	匝陵会匝瑳支部	内山屋
元.7.13	四街道支部	永華楼飯店
元.8.18	野栄支部	岩沢
元.8.24	旭匝会	昇月
元.8.24	干潟支部	嘉儀屋
元.9.21	匝陵会吉田支部	紫季
元.9.27	多古町匝高会	萬勢庵
	匝東会	中止
	匝陵会中央支部（西城会）	中止
	京葉支部	中止
	飯匝会	中止
	匝陵会総会	中止
	横匝会	中止
	光支部	
	海上支部	
	銚匝会	
	匝陵会豊栄支部	



鵜之沢 正吉
(高27)

「団結は力なり」 同窓会長退任あいさつ

新型コロナウイルス感染症が日本各地、世界中で拡散しておりますが、会員の皆様は

いかがお過ごしでしょうか。令和元年度同窓会としては、5月のゴルフ大会、6月の総会をはじめ、多くの行事・会合等を中止せざるを得なくなりました。このような状況下、会長の退任となりましたが、ご協力誠にありがとうございました。ユーチューブを使ってコロナに関連した検索をしてみると、欧米では人と人との接触の機会を減らす一方、お互いを元気づけるためにバルコニーに出て皆で歌い、一人暮らしの高齢者のために買い物や犬の散歩を代行するなど、昔ながらの

「近所さんの助け合い」をする動画が数多く出ています。困難な時こそ助けあったり励ましあったりと、誰かのためを思って行動できるのは素晴らしいことだと思います。会員の皆様におかれましても、密閉、密集、密接の「3密」に配慮しつつも、連絡を密にし、交流を深め、助け合っていたいただきたいものです。終わりに、一日も早いコロナ問題の収束を願うとともに、世代を超えて結束を固め、母校の存在感が高まっていくことをご期待申し上げます。会長退任のあいさつといたします。

同窓会幹事 (全日制:第72回/定時制:第66回)

令和元年度卒業し、同窓会幹事となった方々は次のとおりです。

クラス	氏名
A	安藤 匠
B	向後 陽菜
C	三浦 花菜
D	柴 希絃
E	菊地 黄
F	若梅 駿介
G	金杉 大知
P	浅野 彰太

創立90周年教育助成事業 第6期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日) 事業決算

収入の部		支出の部	
第6期事業費	1,200,000	理数科振興費	155,959
奨学金の一部返金	60,000	文化的事業の助成	475,814
決算利息	74	大学進学者対象奨学金	200,000
		定時制生徒の教育支援	58,000
		教育助成事業会計へ繰入	370,301
合計	1,260,074	合計	1,260,074

総額は1,200万円。120万円を年間の事業予算として、教育助成事業を行うものとし、
 ・全日制においては、進学指導重点校としての教育活動費用を援助する。
 ・定時制においては、厳しい教育環境下にいる生徒の教育活動の活性化を援助する。
 ・奨学金は、5万円(給付4万円・貸与1万円)

財産目録 (教育助成事業)

	H31年3月31日	R2年3月31日
普通預金 銚子信金 八日市場支店	7,487,854	6,658,155
合計	7,487,854	6,658,155

創立90周年記念事業残余金

収入の部			
決算利息	47	次年度繰越	47
合計	47	合計	47

・90周年記念事業の残余金については、100周年記念事業の準備資金として同窓会が管理する。

財産目録 (創立100周年記念事業準備金)

	H31年3月31日	R2年3月31日
普通預金 銚子信金 八日市場支店	4,659,303	4,659,350
合計	4,659,303	4,659,350

創立90周年記念教育助成事業第7期

収入の部		支出の部	
第6期からの繰越金	6,658,155	普通預金(銚子信金)	5,498,222
奨学金の一部返金	40,000	第7期事業	1,200,000
決算利息	67		
合計	6,698,222	合計	6,698,222

第7期(令和2年度)事業予算

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
第7期事業費	1,200,000	1,200,000	0	令和2年度教育助成事業費
合計	1,200,000	1,200,000	0	

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
理数科振興費	380,000	380,000	0	理数科の課題研究補助
教育補助費	500,000	500,000	0	文化的事業の助成
奨学金	200,000	200,000	0	大学進学者対象奨学金
定時制振興費	120,000	120,000	0	定時制生徒の教育支援
合計	1,200,000	1,200,000	0	

創立90周年記念事業残余金

収入の部		備考	
前期繰越金	4,659,350		
決算利息	47		
合計	4,659,397	銚子信金 八日市場支店	

学校だより ～母校の“今”～

校長あいさつ 「文武両道の精神で」



校長 小西 薫

コロナ禍でも匝高は頑張っています。

今年4月に着任いたしました校長の小西薫です。どうぞよろしくお願いいたします。

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、物心両面にわたり多大なるご支援・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年の12月、中国の武漢で新型コロナウイルスの感染者が初めて確認され、日本でも一気に感染が拡大しました。政府から2月下旬に全国の学校に休校要請が出され、本校でも3月4日から臨時休校としました。そして、4月7日に政府から出された「緊急事態宣言」の解除を待つて、ようやく6月1日に令和2

年度前期の始業式と入学式を行うことができました。但し、最初の2週間は、クラスを半分に分けての分散登校で授業を行いました。全校生徒が一斉登校し、通常の授業を行うことができたのが、6月16日からでした。

令和2年度が2か月遅れでスタートしたことにより、生徒の学校生活に大きな影響が出てしまいました。特に学習の遅れは深刻でした。学習の遅れを少しでも取り戻すために、6月に行われていた「葛陵祭」を中止とし、年2回あった競技大会を1回に減らすなど、学校行事等を大幅に見直しました。

また、部活動でも運動部、文化部とも全国大会や全国コンクール等が中止となり、それに伴い、地区や県の大会やコンクール等も中止となりました。3年生の最後となる大会等が全て中止となってしまいました。

こうした中でも、匝高生は学習の遅れを取り戻そうと、熱意ある教職員の指導のもと、意欲的に学習に取り組んでいます。

部活動では、8月に行われた県独自の代替大会で弓道部男子が準優勝、陸上競技部が、一般の選手が出場する大会においてハンマー投げで第6位に入賞しました。また、美術部が、WEBで行われた全国高等学校総合文化祭に千葉県代表として3点の油絵を出展し、高校生国際美術展で2名が入選、書道部2名が千葉日報社賞を受賞するなど、素晴らしい成果を上げています。

匝高生は、諸先輩方が築き上げ、脈々と受け継いでこられた「文武両道」の精神を、これからも継承するとともに、更に発展させ、匝高の新たな歴史の1ページを築いてくれると確信しています。先輩方のご期待に添えるようしっかりと取り組んでまいります。今後とも、ご指導・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



令和2年度 教職員名簿 (全日制・定時制)

教科	職名	氏名	卒回
全日制			
校長		小西 薫	
教頭		志賀 達也	
		滝澤 剛	
国語	教諭	鶴澤 忍	高31
		平山 淳一	高32
		青澤 晴美	高32
		伊藤 好江	
	臨任	津幡 尚子	
		倉田 兼佑	
		佐藤 弘之	
		菅谷 浩紀	
社会	教諭	田村 公孝	
		高橋 務	
		清宮 啓太	
		早川 直志	高62
		大木 宏之	高27
数学	教諭	鈴木 智	高30
		伊藤 秀幸	高32
		木内 俊夫	高33
		野本 貴志	

教科	職名	氏名	卒回
数学	教諭	津嶋 康徳	
		大塚 俊介	
		八木 裕樹	高59
		宮内 瑛之	高30
		宇野 典男	高30
		向後 伸志	
		渡久山 朝一	高35
		渡邊 幸雄	高36
理科	教諭	角田 利幸	高54
		小林 千尋	高57
		加藤 文孝	
		青木 侑弘	
		田邊 瀬聡	
保健体育	教諭	越川 恭伸	
		松本 剛史	高40
		金杉 恭尚	高51
		金平 尚樹	
		西倉 悠作	
音楽	教諭	吉井 幸子	
美術	教諭	藤崎 和紀	
書道	教諭	藤鈴 木幸	

教科	職名	氏名	卒回
英語	教諭	磯貝 真規子	
		根本 良明	
		矢部 敬子	高42
		園山 里佳	
		門脇 舞	
		及川 千裕	高62
		上田 大樹	
		吉井 大和	高67
		塚本 雅之	
		加藤 綾子	
家庭	教諭	鈴木 菜	
	臨任	鈴木 菜	
養護教諭	教諭	外口 有子	
	臨任	高木 綾子	
実習助手	臨任	宇井 昌子	
		榑 原紫乃	
		中野 由梨	
		下野 希美	
		原口 隼	高66
社会	非常勤講師	及川 博之	
理科	非常勤講師	及川 博之	
英語	非常勤講師	岩柳 好美	
中国語	非常勤講師	姜 寅星	
韓国語	非常勤講師	金 美好	
英語	A L T	バンジャメン・アーデン	
	S S W	高田 俊彦	
	S C	西岡 浩史	

教科	職名	氏名	卒回
充て指導主事	事務長	小高 清乃	
		笹本 浩康	
		石塚 千晶	
		井上 千波	高65
主査	主事	岡田 稔	
		小田木 馨	
日々雇用	嘱託技能員	渡邊 任美	高57
		石橋 美信	
嘱託技能員	嘱託技能員	竹内 正己	
		結城 正一	
定時制			
教頭	教頭	佐々木 清文	
		奈良崎 俊一	
国語	教諭	須合 美保	
		小川 耕一	高33
社会	教諭	石神 綾乃	
		小山 純平	
数学	教諭	星 光	
理科	教諭	卯月 博幸	
保体	教諭	朝日 惣一郎	
英語	教諭	坂本 光花	
養護	臨任	戸成 智絵	
		高野 善美	高43
主査	主査	内山 朝子	
家庭	非常勤	内山 朝子	

全国高等学校総合文化祭

県代表として3名参加

美術部から3名の生徒が、文化部のインターハイとも呼ばれる第44回全国高等学校総合文化祭へ千葉県代表として参加しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年は開催県の高知へ行くことができずWEBでの開催となりましたが、その中でも生徒たちは、全国の高校生たちと作品を通じて交流を持つことができました。

た。制作中の予期せぬ休校など、困難なことがあっても前向きに取り組んだ経験はこれからの人生を支えてくれる大きな力になることと思います。支えてくださった多くの皆様に感謝申し上げます。

参加生徒

- 3年 加瀬明日風(左上)
- 3年 田口 舞奈(右)
- 2年 越川 諒子(左下)



部活動の活躍(代替大会ほか)

新型コロナウイルス感染症拡大により、高校3年生の活躍の場であった多くの大会が中止になりました。その後、各方面からの力添えにより、代替大会として3年生限定の大会が開催されました。令和元年度冬以降の主なものをご紹介します。

【弓道部】

- ◆令和元年度新人弓道大会
女子個人の部 第6位 石橋奈津希
- ◆令和2年度千葉県高等学校弓道錬成大会兼令和2年度高校3年生代替大会
準優勝・スポーツ庁長官特別賞
鈴木大貴・江口拓哉・木村繪太郎・藤田一輝・大崎優真

【美術部】

- ◆令和2年度高校生国際美術展
奨励賞 田口舞奈

【書道部】

- ◆令和元年度全日本学生美術展
推奨 土屋菜々
- ◆令和2年度全書芸文化院主催全国書初め大会
文化院賞 山中梨紗子
- ◆バスケットボール部(男子)
◆令和元年度新人バスケットボール大会
県大会 第6位入賞
- ◆令和2年度第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ2020)
千葉県予選会 第5位入賞

令和元年度卒業生の進路状況

千葉大学医学部現役合格!

令和元年度卒業生は、千葉大学医学部をはじめ、千葉大学看護学部、東京工業大学、防衛大学校など、夢だった志望校合格を勝ち取ったという、うれしい報告が相次ぎました。

国立大学は、千葉大(5)、茨城大(4)、千葉県立保健医療大(3)、東京都立大(2)、長野大(2)、山形大(1)、宮城大(1)、福島大(1)、東京工業大(1)、秋田県立大(1)の計21名が合格しました。

私立大学では、中央大(3)、学習院大(1)、東京理科大(1)、法政大(1)、明治大(1)など、延べ387名が合格しました。

コロナ禍で大学生も高校生も受難の年となっています。1人でも多くの生徒が進路希望を叶えられるよう、全職員一丸となって指導を行ってまいります。(進路指導主事 角田利幸)

卒業生の進路先一覧(実人数)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度
国公立大	19	30	19
私立大	181	179	186
短大	8	10	8
専門学校	34	41	43
公務員	9	6	8
大学校	1	0	0
留学	1	0	0
民間就職	1	2	5
予備校等	18	33	35
総数	272	301	304

創立100周年が近づいています

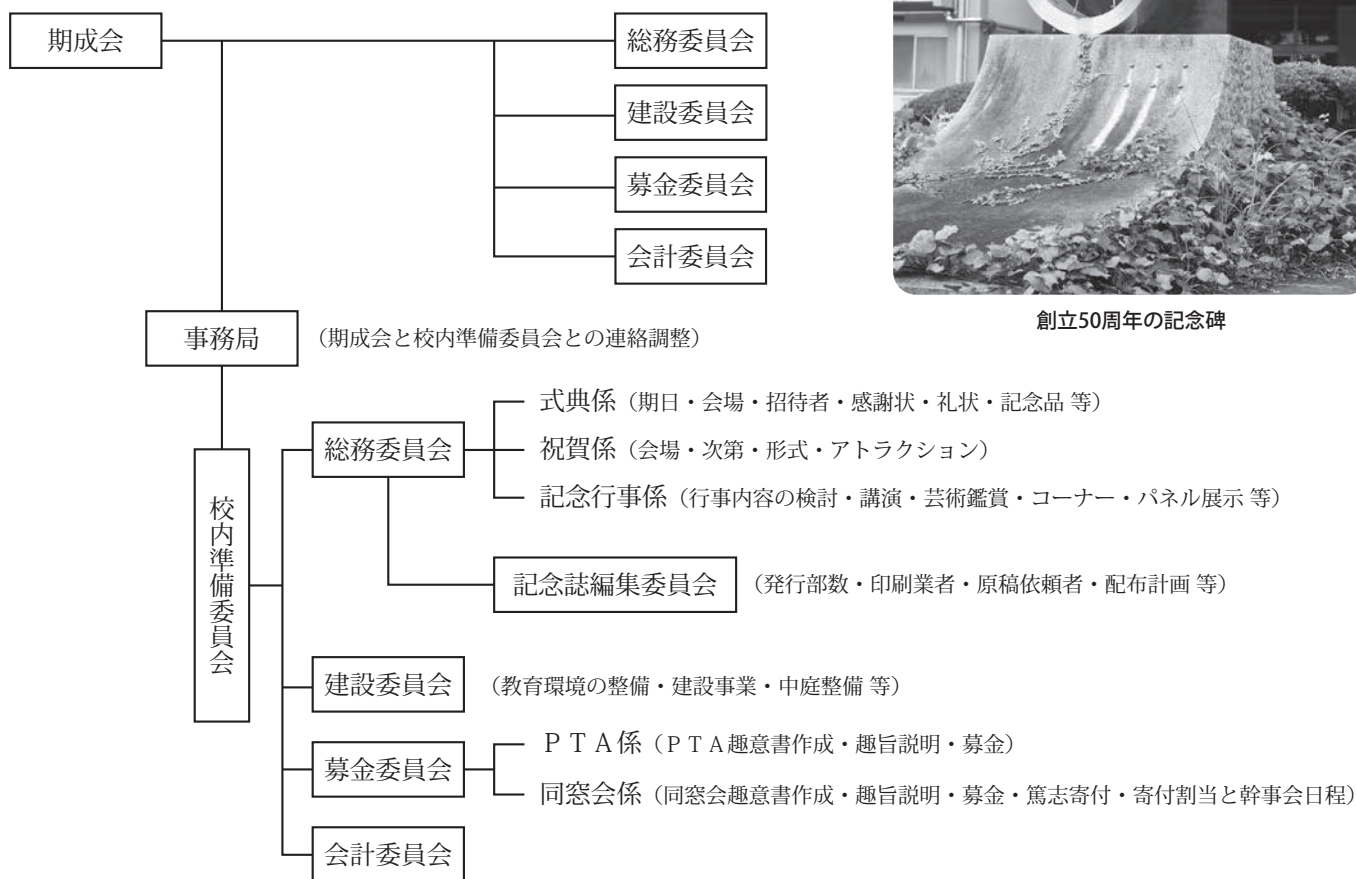
～ 2024年に向けて、過去の取組みを紹介

千葉県立匝瑳高校の創立100周年が近づいてきました。期成会を中心として、学校と連携をしながら記念事業・行事の準備を進めていくこととなります。コロナ禍の中での準備ですが、参考として90周年のときの組織図を以下に示します。

また、次ページには50周年以降、学校施設が充実していった様子をまとめてみました。同窓会員の皆様のご尽力に依るところも大きいかと思えます。是非参考にさせていただいて、100周年記念事業・行事への建設的など意見を伺いたいと思えます。



創立50周年の記念碑



さふさの由来

「同窓さふさ」は、平成2年8月に第1号が発行されました。当時、同窓会活動の活性化を、ひいては母校の発展を、との構想から設置された「同窓会運営検討委員会」で真剣な検討を行い、その結果同窓会報の発行に至りました。第1号には、会報名の由来に関する記事があったので、ここに一部を抜粋して紹介します。

第二四代仁賢天皇の御代、物部小大連が坂東に出征の後勝利を得て帰り、その勲功によって下総国に初めて匝瑳郡を建て、匝瑳という氏を与えられたという古記録がある。

匝瑳はあて字で、もとは狭布佐と書き、「さ」は美称で「ふさ」は麻である。麻の古語が「ふさ」で総の国の名称も、良い麻の繁殖する土地であるところから名づけられた。

周年行事前後の学校施設の充実

- 1924年 匝瑳中学校として創立
 1974年 創立50周年【式典75年5月】
 生徒棟（73年）
 第3種公認陸上競技場（74年）【写真①】
 体育館（75年）
 玄関前に校訓をシンボライズした記念碑（75年）
 1984年 創立60周年【式典85年6月】
 匝六園（83年）
 同窓会館兼合宿所（至誠館）（84年）
 正門前にクスノキ植樹（87年）【写真②】
 1994年 創立70周年【式典94年11月】
 西城館（94年）
 匝東会よりソメイヨシノ56本寄贈（00年）
 2004年 創立80周年【式典04年11月】
 トレーニング棟（匝陵館）（03年）
 中庭整備（04年）
 弓道場竣工（04年）【写真③】
 2014年 創立90周年【式典14年11月】
 視聴覚室整備（14年） 中庭整備（14年）
 教育助成（14年～23年）教育活動への援助
 2024年 創立100周年（式典24年を予定）

【掲載写真は、2020年に撮影しました】



▲写真① 公認陸上競技場

同窓会から在校生への援助

- ・ 創立90周年教育助成事業として、様々な教育活動への補助を行っている。

（年間予算120万円）

- ①教育機器の購入（プロジェクトほか）
- ②理数科の課題研究の補助
- ③大学進学のと看、4名に奨学金を給付
- ④生徒の視野を広げるための講演会の開催
- ⑤短期交換留学の研修費補助

- ・ 同窓会体育部会主催のゴルフ大会が年2回開催され、懇親会にて寄付を頂き、運動部の活動支援に充てている。

- ①製氷機の購入・修理
- ②野球グラウンド・テニスコートの整備
- ③合宿所（至誠館）の修繕
- ④部活動備品の修理・補充

- ・ 総会時に、インターハイ出場選手への激励



▲写真②
クスノキ・体育館

◀写真③
弓道場
（05年きらめき総体会場）

国道126号 駅前交差点

八日市場
駅前ホール

匝瑳市八日市場イ113
Tel 0479-73-5321

株式会社 荒井

<http://www.ekimaehole.co.jp>

野栄総合支所前通り東

野栄ホール

匝瑳市野手2235
Tel 0479-67-5353

高13回

荒井 淳一



眠りの専門店

わたしん

肩コリ・腰痛でお悩みの方は

〒289-2516 千葉県旭市口の658番地
Tel 0479-62-0234 Fax 0479-63-9521

取締役会長 片山 勲 高13回

Since 1866

154th

日本翻訳家協会から

2名の同窓生が同時受賞



昨今の新型コロナウイルスの猛威の中、過去の感染症が話題になっていますが、ヨーロッパの中世の感染症「黒死病」(ペスト)を扱った800頁の翻訳書が同窓生の石坂尚武さん(高18)から出版され、日本翻訳家協会から「翻訳特別賞」を受賞されました。この協会は、1953年にユネスコに創設された国際翻訳家連盟の権威ある日本代表機関です。同時にドイツ文学で長年活躍された同窓生の浅野洋さん(高20)もナチス体制下のプラハに関する名著の精緻で優れた翻訳で受賞されました。お二人の2018年度の表彰式が2018年10月19日東京神田の学

■翻訳文化賞

浅野 洋(新水社)

埼玉女子短大名誉教授

『ヨーロッパはプラハで死んだ——ヒトラー、スターリン支配下の文学風景』

(ユルゲン・ゼルケ著)

■翻訳特別賞

石坂尚武(刀水書房)

同志社大名誉教授

『イタリアの黒死病関係史料集』

士会館において行われました。お二人は式場にて、偶然同窓生であることを知り、歓談されたとのことでした。



表彰式にて 石坂尚武さん(左)・浅野 洋さん

寄稿

松原先生の思い出

中18 鵜之澤正夫

“One day a hare met a tortoise”

ページを開くと、松原先生は冒頭を朗読して聞かせるのだった。今でも小生の耳に残っている。時は昭和17年、太平洋戦争が始まって2年目、我々は13歳~15歳であった。折から若い先生方は兵役に応召し、英語の先生も例外ではなく、先生方は不足気味であった。そのため学校では、日曜学校の先生(牧師)である松原崑七氏を英語教師として採用した。旧八日市場町の仲間内では日曜学校に行くとお菓子を貰えるから行ったことがあり知っている者も居た。

この時代、日本は英・米を相手に戦争をしている。この敵性国家の言葉など学ぶ必要はないという一部国粹主義者の声もあったが、今思うと、匝瑳中学ではそういう意見にも動ずることなく一貫して必要な学問として英語教育をやってきたようだ。

以来幾星霜を経て、小生現在91歳、横芝光町第2松丘園で週2回お世話になっている。社会福祉法人九十九里ホームグループの1つである。

玄関の正面に面した壁面に1枚の写真が掛けられている。古めかしい白黒の写真の中には中年の婦人が立っている。明治38年に来日した九十九里ホームの創設者オードリー・マーガレット・ヘンテ女史である。女史は、昭和10年東総の地に居を定め、結核療養所九十九里ホームを作った。資料によれば、ホームの設立には前記松原崑七牧師が大変尽力したようである。小生が匝瑳で英語を教わった正にその人である。先生は、戦中戦後の7年間教鞭をとり、昭和25年に牧師に復職、翌年3月逗子市聖ペテロ教会に移られた、とある。

小生が今日高齢の被介護者としてお世話になっているこの施設は、松原先生が大いに関わっていた歴史があったのである。

人生不思議なえにしに遭遇することがある。

総合建設業

阿部建設株式会社

代表取締役 阿部典義(高18回)

本社/〒289-2504 千葉県旭市ニの528番地
TEL 0479(62)1221 FAX 0479(63)7171
関東支店/〒260-0002 千葉県千葉市中央区旭町24-8
TEL 043(225)3730 FAX 043(225)4850
住宅事業部/旭ミサホーム/〒289-2504 千葉県旭市ニの2119-1
TEL 0479(63)7633 FAX 0479(63)7644
干潟リサイクル工場/〒289-0501 千葉県旭市清和乙662
TEL 0479(68)3420 FAX 0479(68)4756
URL: <http://www.abeken.co.jp>

地域の皆さまへ

健康と笑顔をお届けします

毎日薬局

本社：匝瑳市八日市場イ 2411
<http://www.mainichi1954.com>

お悔やみ申し上げます

ご遺族もしくは関係者からご連絡をいただいた方です。
(令和2年9月30日受付分まで)
会員の訃報について、事務局まで情報をお寄せください。

- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 宮内秀雄(中7)
令和元年5月22日逝去 | 宮内秀雄(中7)
令和元年5月22日逝去 | 宮内秀雄(中7)
令和元年5月22日逝去 | 宮内秀雄(中7)
令和元年5月22日逝去 |
| 石毛通治(中9)
令和2年9月12日逝去 | 石毛通治(中9)
令和2年9月12日逝去 | 石毛通治(中9)
令和2年9月12日逝去 | 石毛通治(中9)
令和2年9月12日逝去 |
| 笹川和(中9)
令和2年2月5日逝去 | 笹川和(中9)
令和2年2月5日逝去 | 笹川和(中9)
令和2年2月5日逝去 | 笹川和(中9)
令和2年2月5日逝去 |
| 関本雄一(中10)
令和2年1月3日逝去 | 関本雄一(中10)
令和2年1月3日逝去 | 関本雄一(中10)
令和2年1月3日逝去 | 関本雄一(中10)
令和2年1月3日逝去 |
| 鈴木純(中11)
平成31年3月15日逝去 | 鈴木純(中11)
平成31年3月15日逝去 | 鈴木純(中11)
平成31年3月15日逝去 | 鈴木純(中11)
平成31年3月15日逝去 |
| 秋葉義弥(中12)
令和2年2月18日逝去 | 秋葉義弥(中12)
令和2年2月18日逝去 | 秋葉義弥(中12)
令和2年2月18日逝去 | 秋葉義弥(中12)
令和2年2月18日逝去 |
| 青柳隆夫(中16)
令和元年7月15日逝去 | 青柳隆夫(中16)
令和元年7月15日逝去 | 青柳隆夫(中16)
令和元年7月15日逝去 | 青柳隆夫(中16)
令和元年7月15日逝去 |
| 宮内與四郎(中16)
平成30年12月30日逝去 | 宮内與四郎(中16)
平成30年12月30日逝去 | 宮内與四郎(中16)
平成30年12月30日逝去 | 宮内與四郎(中16)
平成30年12月30日逝去 |
| 菊地英彰(中17)
令和元年7月11日逝去 | 菊地英彰(中17)
令和元年7月11日逝去 | 菊地英彰(中17)
令和元年7月11日逝去 | 菊地英彰(中17)
令和元年7月11日逝去 |
| 小林晃(中18)
令和元年5月10日逝去 | 小林晃(中18)
令和元年5月10日逝去 | 小林晃(中18)
令和元年5月10日逝去 | 小林晃(中18)
令和元年5月10日逝去 |
| 越川幸(中19・20)
平成31年2月5日逝去 | 越川幸(中19・20)
平成31年2月5日逝去 | 越川幸(中19・20)
平成31年2月5日逝去 | 越川幸(中19・20)
平成31年2月5日逝去 |
| 椿錦二(中19・20)
平成30年6月15日逝去 | 椿錦二(中19・20)
平成30年6月15日逝去 | 椿錦二(中19・20)
平成30年6月15日逝去 | 椿錦二(中19・20)
平成30年6月15日逝去 |
| 鶴沢恒雄(高1)
令和元年10月14日逝去 | 鶴沢恒雄(高1)
令和元年10月14日逝去 | 鶴沢恒雄(高1)
令和元年10月14日逝去 | 鶴沢恒雄(高1)
令和元年10月14日逝去 |
| 吉田(高橋)忠良(高2)
令和元年8月28日逝去 | 吉田(高橋)忠良(高2)
令和元年8月28日逝去 | 吉田(高橋)忠良(高2)
令和元年8月28日逝去 | 吉田(高橋)忠良(高2)
令和元年8月28日逝去 |
| 小泉泰清(高3)
令和2年2月2日逝去 | 小泉泰清(高3)
令和2年2月2日逝去 | 小泉泰清(高3)
令和2年2月2日逝去 | 小泉泰清(高3)
令和2年2月2日逝去 |
| 鈴木(高橋)善雄(高3)
令和元年7月15日逝去 | 鈴木(高橋)善雄(高3)
令和元年7月15日逝去 | 鈴木(高橋)善雄(高3)
令和元年7月15日逝去 | 鈴木(高橋)善雄(高3)
令和元年7月15日逝去 |
| 平山公信(高3)
令和元年12月30日逝去 | 平山公信(高3)
令和元年12月30日逝去 | 平山公信(高3)
令和元年12月30日逝去 | 平山公信(高3)
令和元年12月30日逝去 |
| 宇井信道(高5)
令和元年12月29日逝去 | 宇井信道(高5)
令和元年12月29日逝去 | 宇井信道(高5)
令和元年12月29日逝去 | 宇井信道(高5)
令和元年12月29日逝去 |
| 椎名良三(高5)
令和元年11月4日逝去 | 椎名良三(高5)
令和元年11月4日逝去 | 椎名良三(高5)
令和元年11月4日逝去 | 椎名良三(高5)
令和元年11月4日逝去 |
| 萩原康男(高5)
令和元年11月20日逝去 | 萩原康男(高5)
令和元年11月20日逝去 | 萩原康男(高5)
令和元年11月20日逝去 | 萩原康男(高5)
令和元年11月20日逝去 |
| 石井(竹之内)文雄(定昼1)
平成30年9月20日逝去 | 石井(竹之内)文雄(定昼1)
平成30年9月20日逝去 | 石井(竹之内)文雄(定昼1)
平成30年9月20日逝去 | 石井(竹之内)文雄(定昼1)
平成30年9月20日逝去 |
| 今関忠三郎(高6)
令和元年11月6日逝去 | 今関忠三郎(高6)
令和元年11月6日逝去 | 今関忠三郎(高6)
令和元年11月6日逝去 | 今関忠三郎(高6)
令和元年11月6日逝去 |
| 大木健夫(高6)
令和2年5月1日逝去 | 大木健夫(高6)
令和2年5月1日逝去 | 大木健夫(高6)
令和2年5月1日逝去 | 大木健夫(高6)
令和2年5月1日逝去 |
| 奥村要(高6)
令和元年7月21日逝去 | 奥村要(高6)
令和元年7月21日逝去 | 奥村要(高6)
令和元年7月21日逝去 | 奥村要(高6)
令和元年7月21日逝去 |
| 増田三也(高6)
令和元年6月9日逝去 | 増田三也(高6)
令和元年6月9日逝去 | 増田三也(高6)
令和元年6月9日逝去 | 増田三也(高6)
令和元年6月9日逝去 |
| 向後(平山)久子(高7)
令和元年9月23日逝去 | 向後(平山)久子(高7)
令和元年9月23日逝去 | 向後(平山)久子(高7)
令和元年9月23日逝去 | 向後(平山)久子(高7)
令和元年9月23日逝去 |
| 青木(奥村)治子(高8)
平成28年2月10日逝去 | 青木(奥村)治子(高8)
平成28年2月10日逝去 | 青木(奥村)治子(高8)
平成28年2月10日逝去 | 青木(奥村)治子(高8)
平成28年2月10日逝去 |
| 向後幸作(高9)
令和元年11月28日逝去 | 向後幸作(高9)
令和元年11月28日逝去 | 向後幸作(高9)
令和元年11月28日逝去 | 向後幸作(高9)
令和元年11月28日逝去 |
| 佐藤博(高9)
令和元年5月26日逝去 | 佐藤博(高9)
令和元年5月26日逝去 | 佐藤博(高9)
令和元年5月26日逝去 | 佐藤博(高9)
令和元年5月26日逝去 |
| 鈴木正直(高9)
令和2年2月17日逝去 | 鈴木正直(高9)
令和2年2月17日逝去 | 鈴木正直(高9)
令和2年2月17日逝去 | 鈴木正直(高9)
令和2年2月17日逝去 |
| 林敏男(高9)
令和元年5月15日逝去 | 林敏男(高9)
令和元年5月15日逝去 | 林敏男(高9)
令和元年5月15日逝去 | 林敏男(高9)
令和元年5月15日逝去 |
| 柳橋(鶴沢)栄(定夜3)
令和元年7月26日逝去 | 柳橋(鶴沢)栄(定夜3)
令和元年7月26日逝去 | 柳橋(鶴沢)栄(定夜3)
令和元年7月26日逝去 | 柳橋(鶴沢)栄(定夜3)
令和元年7月26日逝去 |
| 田村邦男(高10)
平成31年1月26日逝去 | 田村邦男(高10)
平成31年1月26日逝去 | 田村邦男(高10)
平成31年1月26日逝去 | 田村邦男(高10)
平成31年1月26日逝去 |
| 山内博徹(高11)
平成30年7月25日逝去 | 山内博徹(高11)
平成30年7月25日逝去 | 山内博徹(高11)
平成30年7月25日逝去 | 山内博徹(高11)
平成30年7月25日逝去 |
| 伊藤徳雄(高12)
平成31年1月31日逝去 | 伊藤徳雄(高12)
平成31年1月31日逝去 | 伊藤徳雄(高12)
平成31年1月31日逝去 | 伊藤徳雄(高12)
平成31年1月31日逝去 |
| 高木元吉(高14)
平成31年4月19日逝去 | 高木元吉(高14)
平成31年4月19日逝去 | 高木元吉(高14)
平成31年4月19日逝去 | 高木元吉(高14)
平成31年4月19日逝去 |
| 越川利(高15)
令和元年12月30日逝去 | 越川利(高15)
令和元年12月30日逝去 | 越川利(高15)
令和元年12月30日逝去 | 越川利(高15)
令和元年12月30日逝去 |
| 飯島孝夫(定夜9)
平成30年10月30日逝去 | 飯島孝夫(定夜9)
平成30年10月30日逝去 | 飯島孝夫(定夜9)
平成30年10月30日逝去 | 飯島孝夫(定夜9)
平成30年10月30日逝去 |
| 内藤真(定夜10)
平成30年10月4日逝去 | 内藤真(定夜10)
平成30年10月4日逝去 | 内藤真(定夜10)
平成30年10月4日逝去 | 内藤真(定夜10)
平成30年10月4日逝去 |
| 花沢秋雄(高18)
平成31年1月24日逝去 | 花沢秋雄(高18)
平成31年1月24日逝去 | 花沢秋雄(高18)
平成31年1月24日逝去 | 花沢秋雄(高18)
平成31年1月24日逝去 |
| 池田(本間)百合子(高18)
平成31年1月24日逝去 | 池田(本間)百合子(高18)
平成31年1月24日逝去 | 池田(本間)百合子(高18)
平成31年1月24日逝去 | 池田(本間)百合子(高18)
平成31年1月24日逝去 |
| 石毛(八角)千榮子(高21)
令和2年4月11日逝去 | 石毛(八角)千榮子(高21)
令和2年4月11日逝去 | 石毛(八角)千榮子(高21)
令和2年4月11日逝去 | 石毛(八角)千榮子(高21)
令和2年4月11日逝去 |
| 萩原承平(高22)
令和2年7月26日逝去 | 萩原承平(高22)
令和2年7月26日逝去 | 萩原承平(高22)
令和2年7月26日逝去 | 萩原承平(高22)
令和2年7月26日逝去 |
| 増田雅洋(高22)
令和元年10月1日逝去 | 増田雅洋(高22)
令和元年10月1日逝去 | 増田雅洋(高22)
令和元年10月1日逝去 | 増田雅洋(高22)
令和元年10月1日逝去 |
| 秋山雅信(高23)
令和元年8月18日逝去 | 秋山雅信(高23)
令和元年8月18日逝去 | 秋山雅信(高23)
令和元年8月18日逝去 | 秋山雅信(高23)
令和元年8月18日逝去 |
| 椎名(多部田)衣里(高26普)
令和元年12月16日逝去 | 椎名(多部田)衣里(高26普)
令和元年12月16日逝去 | 椎名(多部田)衣里(高26普)
令和元年12月16日逝去 | 椎名(多部田)衣里(高26普)
令和元年12月16日逝去 |
| 田邊(及川)良子(高30普)
令和2年2月4日逝去 | 田邊(及川)良子(高30普)
令和2年2月4日逝去 | 田邊(及川)良子(高30普)
令和2年2月4日逝去 | 田邊(及川)良子(高30普)
令和2年2月4日逝去 |
| 布施智哉(高61普)
平成23年12月17日逝去 | 布施智哉(高61普)
平成23年12月17日逝去 | 布施智哉(高61普)
平成23年12月17日逝去 | 布施智哉(高61普)
平成23年12月17日逝去 |

匝瑳高同窓会 検索

ご覧ください 同窓会ホームページ

～ 会員登録で広がる交流の輪 ～

匝瑳高校同窓会のホームページをご存知ですか？同窓会員の「集いの広場」として開設しているホームページは、会員同士の情報交換の場としてご利用できます。また、会員登録を行うと自ら情報を発信することも可能です。皆さんもホームページを活用し、インターネットでつながる同窓の輪を広げてみませんか。



★ おめでとうございます ★

- ◆ 長寿長老杖
荒井 淳一 (高13)
- ◆ 藍綬褒章
清水 幸男 (高14)
児玉八重子 (高17)
- ◆ 黄綬褒章
林 武男 (高21)
- ◆ 瑞宝双光章
佐藤 清和 (高25)
- ◆ 瑞宝单光章
萩原 承平 (高22)

※ 受章(賞)についての情報を事務局までお知らせください。



代表取締役社長
品質管理責任者
鈴木 正一郎 (高29)
SUZUKI SHOICHIRO

SUZUKI STEEL STRUCTURE INC

鈴木鉄興株式会社

鋼構造物工事業(Hグレード)
一級建築設計事務所

1級建築士
WES (IHW-IWE) 国際資格
WES 特別級

〒289-2152 千葉県匝瑳市松山994-5
TEL 0479(72)1105 FAX 0479(72)1143
設計直通 TEL 0479(70)1208
E-mail suzuki@suzuki-str.com
携 帯 070-4064-0002
URL http://www.suzuki-str.com

各種ご宴席・同窓会承ります。

成田ビューホテル

〒286-0127 千葉県成田市小菅700
TEL:0476-32-1111

支配人 斉藤 浩文 (高36回)



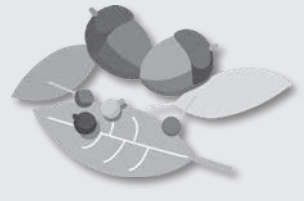
〔高2〕 寺村 恒郎	〔高7〕 伊藤 善光	〔高8〕 関 司郎	〔高10〕 八角かつ子	〔高11〕 片岡 俊雄	〔高11〕 越川 教子	〔高12〕 森 眞義	〔高12〕 角田 泰吉	〔高14〕 佐久間紀好	〔高15〕 嶋田 豊	〔高15〕 菱木 喜雄	〔高17〕 木内 和男	〔高18〕 鈴木美智子	〔高18〕 久保田勝子	塩野谷栄子
林 優子	三橋 聡	〔高20〕 木伏 一子	〔高21〕 石毛 正英	〔高22〕 小野 隆司	〔高22〕 伊藤 健男	〔高24〕 足立美佐江	〔高26〕 椎名 尚	〔高27〕 和気 映子	〔高27〕 小川 一夫	〔高27〕 大木 克真	〔高28〕 木村 順子	〔高28〕 池田 勝之	〔高28〕 村田 勝之	〔高29〕 土屋 一郎
林 新一郎	〔高30〕 齊藤 静江	〔高31〕 笠原恵美子	Kinkhead 常世田剛弘	〔高34〕 澁谷 章男	〔高34〕 菅谷 寿男	〔高37〕 小西 邦男	〔高39〕 岩下 啓子	〔高40〕 穂田 誉輝	〔高40〕 齊藤 政智	〔高42〕 江波戸 淳	〔高42〕 越川 孝明	〔高44〕 山崎 泰弘	〔高46〕 杉山美知子	仲田 里枝
井上菜穂美	〔高50〕 里見 尚美	〔高51〕 戸嶋 輝	〔高52〕 伊良部 直	〔高55〕 林 利勝	〔高56〕 鹿嶋 希美	〔高57〕 加藤 裕	〔高58〕 鈴木 優未	〔高58〕 伊良部 仁	〔高60〕 大木 昇太	〔高60〕 木内麻美子	〔高61〕 吉田 大気	〔高61〕 戸嶋 翼		

終身会費納入者

◆同窓会費とは◆

会費は1年間1,000円で
す。30年間分3万円が終
身会費です。年会費納入
者下欄の数値は、今回の
納付年数となります。
納入書はホームページ
からも入手できますので、
ご協力をお願いします。

※令和元年10月1日～
令和2年9月30日
受領分



〔高6〕 大木 正義 1	〔高9〕 菅谷 良民 1	〔高13〕 鈴木 貞男 5	〔高15〕 渡邊 周作 1	〔高17〕 鈴木 久子 5	〔高18〕 大木 正之 10	〔高18〕 林 鋭夫 1	〔高17〕 大木 行男 1	〔高19〕 加藤 文子 1	〔高19〕 玉真 昭男 10	〔高20〕 東 八重子 10	〔高20〕 植草 さく 10	〔高21〕 伊知地良洋 1	〔高21〕 林 三千男 1	〔高21〕 椎名 陽子 10	〔高25〕 菅谷 実 5	〔高25〕 新田 直子 1	〔高26〕 岩田 妙子 10	〔高26〕 野澤 雄二 10	〔高27〕 秋山 英 5	〔高27〕 小林 茂子 1	〔高27〕 鈴木 芳子 3	〔高29〕 押田 明裕 1								
萩原 勉 2	〔高30〕 長谷川真裕 10	〔高31〕 小川 和男 1	〔高32〕 石井 規之 1	〔高35〕 正木 恵子 1	〔高36〕 桜井 隆宏 1	〔高36〕 瀧田 進市 5	〔高39〕 田中 積代 10	〔高40〕 石見 輝男 5	〔高40〕 宇井 睦子 1	〔高42〕 伊藤 善治 10	〔高43〕 中西 亜弥 1	〔高44〕 後藤 秀明 3	〔高44〕 中西 大典 1	〔高47〕 加藤 慎介 1	〔高49〕 鈴木 邦弘 5	〔高49〕 平沼奈緒子 1	〔高51〕 長平 佳史 2	〔高52〕 江波戸 聡 1	〔高53〕 川島 衛 1	〔高59〕 千葉 郁美 1	〔高60〕 品村 和成 1	〔高61〕 齊藤 貴大 10	〔高62〕 江波戸 優 1	〔高63〕 齊藤 愛美 10	〔高64〕 北田 真規 2	〔高65〕 齋藤 静吾 3	〔高65〕 枝川 孝之 5	〔高66〕 吉田健太郎 1	〔高66〕 石井 康嗣 1	〔高66〕 鈴木 達也 1

年会費納入者

編集後記

昨年のお報を作成して
るときは、翌年のオリ
ンピック・パラリンピック
向け、若人の活躍する姿に
想像を膨らませていまし
た。しかし、その後の世界
を襲った新型コロナウイルス
の影響により、状況は一
変し国家的プロジェクトは
延期され、国内での生活様
式の変更も進んでいます。
こんな時で在るからこそ、
個人の人間力が求められ、
それを培うのが教育です。
切磋高校は、間もなく
100年となる歴史の中で
育まれて成長してきまし
た。この難局も受け入れ、
英知を結集し、人材輩出の
場としての役割を継続して
頂きたいです。

編集委員長 行木利雄

《第54号編集委員》

- 行木 利雄 (高28)
- 酒井 直光 (高29)
- 塚本 貢市 (高30)
- 高橋 康二 (高31)
- 武田 英樹 (高32)
- 小泉 泰孝 (高39)
- 南波 隆 (高28)
- (会長) 宇野 典男 (事務局/高30)